



# お元気ですか!

## 志村 たかよし です

第633号 2013年3月17日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

### 小森陽一氏の講演会に参加

## 「憲法を実現する政治への転換を」

3月10日、私の新川事務所の斜め前にある日本図書館協会の集会室で、「図書館九条の会」主催の講演会があり参加しました。

「全国九条の会」の事務局長を務めている小森陽一さんが「憲法を実現する政治への転換を」と題した講演を行いました。

小森さんは、大江健三郎さんや故井上ひさしさんたちとともに、「全国九条の会」を立ち上げた方です。



わかりやすい話が好評だった小森氏の講演=3/10

### 主権者の声が正しく

#### 代表されていない国会

小森氏は、今回の総選挙の結果について、自民党が、政権を失ったときの選挙より219万票減らしたにもかかわらず「圧勝」したのは、「民意」をゆがめる小選挙区制のため、憲法前文では「日本国民は、政党に選挙された国会における代表者を通じて行動し、…」としているが、今の国会は、主権者の声が正しく「代表」されていないと指摘しました。

また、自由党と民主党が合同して自民党を結党したのは、憲法を変えるため、これまでも様々な策動を行ってきたが、



日本図書館協会=新川

今の安倍晋三首相は、憲法を変えることに執念を持っており、アメリカのために日本人の血を

流す軍事大国化を進めている危険性を具体的な事例を示しながら説明しました。

#### 九条が世界に知られたのは…

憲法九条が世界的に有名になったのは、90年に起きた湾岸戦争の時。

世界から日本はアメリカの「腰巾着」でいつも一緒とみられていました。しかし、湾岸戦争の時、映像にはアメリカ軍と日本の自衛隊が一緒に映っていないかった。なぜ?という疑問が生まれたそうです。

そして、憲法九条があるため武力行使できないことが、世界に認識されたということです。

小森氏は、「04年の時は、憲法を変えた方がいいが6割で、変えない方がいいが2割だったが、今は40数%で拮抗している。『憲法を守れ』の運動を広げて多数派にし、第二安倍政権を押し返しましょう」と力強く呼びかけました。

3月10日 東京大空襲から68年の日に

佃連合町会が防災訓練

3月10日、佃一、二、三丁目の連合町会が、佃中学校校庭を中心とした防災訓練を行いました。

三つの町会ごとにグループを作り、臨港消防署員や消防団員の方たちの説明をうけながら、消火器やAEDの使い方、起震車による揺れの体験などをしました。

比較的少人数に分かれていたので全員が体験でき、質問も気軽にできました。



実際の火を消す消火器訓練



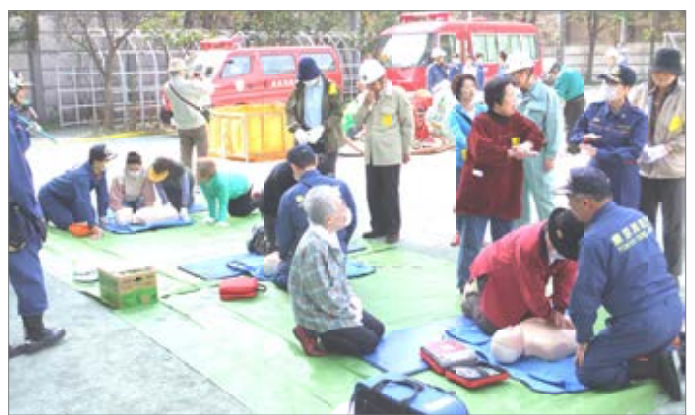
地震だ！まず、頭と身体を守りましょう。



消火栓から放水できるスタンドパイプ

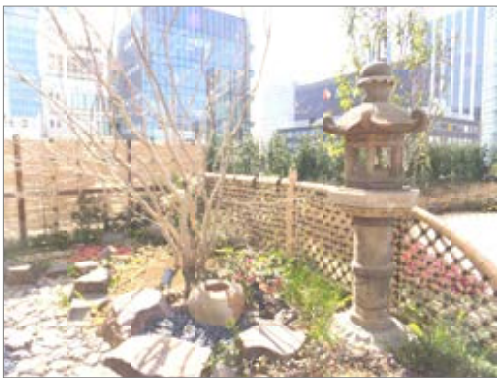


倒壊家屋に閉じ込められた人を探す災害救助犬



誰でもできる心臓マッサージとAEDの訓練

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6699-6906)



歌舞伎作者河竹黙阿弥が晩年を過ごした住まいの庭に置かれていた石灯籠。



歌舞伎座入口の上に作られた庭園。今まで使った瓦が飾ってあります。

劇場内は撮影禁止でしたが、屋上庭園はOKでしたのでご紹介します。

新歌舞伎座を  
区議会が見学